HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	センター活動記録、投稿規定等
Citation	北方人文研究, 18, 285-286
Issue Date	2025-03-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/94502
Type	other
File Information	18_16_Activities and guide for authors.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

センター活動記録（2024 年度）

2025 年 2 月 28 日

主催

①「ワルシャワ蜂起 80 周年記念映画上映・講演会」、2024 年 8 月 9 日、参加者 45 名、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター大会議室、主催：ポーランド広報文化センター、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター、北海道大学文学研究院北方研究教育センター

共催

①講演会、Dr. Dagmara H. Werra (Institute of Archaeology and Ethnology, Polish Academy of Sciences)「The Acquisition, Use, and Cultural Significance of Obsidian during the Stone Age in Poland」、2024 年 10 月 11 日、参加者 7 名、北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W104、主催：北海道大学大学院文学院・文学部考古学研究室

②講演会、七座有香（サイモン・フレイザー大学考古学科博士課程、北方研究教育センター共同研究員「北海道の魚類遺存体を対象にした古代 DNA 分析による人と魚の歴史生態学研究：アイヌ民族との協働研究を目指して」、2024 年 11 月 8 日、参加者 19 名、北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W104、主催：科研費基盤研究（B）「北海道における海洋生産性の長期変動とその人類への影響」（23K20512、研究代表者：高瀬克範）

協力

①OGGs（One program for Global Goals、北海道大学の大学院特別教育プログラム）の NJE3 授業科目への協力

②プラス 1 ピースの読書会 Vol. 17、小椋彩「オルガ・トカルチュクの世界」、2024 年 10 月 24 日、参加者 24 名、北海道大学大学院文学研究院「書香の森」

研究員の受け入れ

①立澤史郎、北海道大学文学研究院、2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

共同研究員の受け入れ

①七座有香、サイモン・フレイザー大学博士課程、2024 年 8 月 30 日～11 月 30 日

②サミュエル・グレイヴス（Samuel Greaves）、クイーンズ大学ベルファスト博士課程、2024 年 10 月～2025 年 9 月

『北方人文研究』投稿規定

1．投稿資格
　投稿者は以下のものとする。
⑴文学研究院の教員、文学院大学院生、本センター共同研究員
⑵上記以外で編集委員会が適当と認めたもの

2．投稿区分
　投稿区分は「論文」「研究ノート」「書評・紹介」「研究会報告」「資料」の５つとする。

3．審査
　投稿された「論文」および「研究ノート」は編集委員会で査読を行い、掲載の可否および区分を決定する。

4．原稿枚数
　原稿の種類に応じて下記の制限を設ける。（写真・図表を含む仕上がりページ数：おおむね１ページ和文 40 字× 40 行）

論文	20 ページ以内
研究ノート	10 ページ以内
書評・紹介	5 ページ以内
研究会報告	2 ページ以内

5．使用言語・ファイル形式
　使用言語は日本語または英語とし、原稿は原則としてワープロソフト（MS-WORD 推奨）で作成する。これに依りがたい場合は編集委員会に相談すること。「論文」および「研究ノート」を投稿する際には英文要旨（タイトルを含めて１ページ）を提出すること。

6．提出方法
　投稿は電子形式とし、e-mail の添付ファイルで北方研究教育センター事務局に提出する。投稿された原稿・写真・図表その他は、掲載の採否にかかわらず原則として返却しない。

7．提出先
cnh-office@let.hokudai.ac.jp
『北方人文研究』編集委員会宛

8．電子公開
　『北方人文研究』は、ウェブ上で公開される電子ジャーナルである。『北方人文研究』への投稿をもって、当該論文等の著者は『北方人文研究』が電子公開されることに同意したとみなす。北方研究教育センターは本誌の内容を、北海道大学学術成果コレクション（学術情報リポジトリ）等で公開する。著者が論文等を他に転載する場合には、事前に編集委員会に連絡すること。

（2025 年 2 月改訂、第 19 号から適用）

『北方人文研究』執筆要項

　原稿には投稿票（別紙様式）を付ける。投稿原稿には題名のみを記し、２行空けて本文を始める（執筆者名等は記さない）。査読は匿名でおこなわれるので、本文中で執筆者が特定できるような表現は避ける。

　用紙設定は A 4 判とし、上下左右に 3.0cm のマージンをとり、和文原稿は 10.5 ポイント文字で１ページに 40 字× 40 行で、英文原稿は 12 ポイント文字で１ページに 40 行横書きで書く。数字は原則として算用数字を用い、記号や符号は慣用に従うこと。

　原稿には使用言語による要旨（20 行程度）を冒頭に付ける。

　本文中に文献に言及する場合は、カッコ書きで（著者姓　発行年：頁数）のように記すこと。参照文献は論文末に一括して作成し、著者名のアルファベット順か 50 音順として、記載は以下にならうものとする。和文文献と欧文文献を分けるかどうかは各投稿者の専門分野の慣例にしたがう。

　注は脚注とし、本文中に上付きの算用数字で通し番号を付ける。

　写真・図表は執筆者によって提供された画像・図表ファイルをそのまま使用する（JPEG が望ましい）。また、写真・図表の著作権や使用許可については執筆者が責任を負うこととする。写真・図表には、番号を付して本文中の掲載場所にその旨を明記することとし、それらのキャプションは本文末尾に掲載する。画像・図表ファイルは、本文とは別ファイルとして提出する。

　論文の内容には充分な倫理的配慮を要するが、考慮を要する場合には、必ず本文中に著者の責任のもとで倫理的配慮をおこなったことを明記する。

　著者校正は二回を原則とし、必要最小限の修正のみをおこなう。

（2019 年 1 月改訂）